

大山町議会議長 杉谷 洋一 様

大山町議会議員 吉原 美智恵



平成 30 年大山町議会議員研修報告書

1	日 時	平成 30 年 10 月 29 日 (月) ~ 31 日 (水)	
2	研 修 地	滋賀県大津市 全国市町村国際文化研究所	
3	研 修 内 容	(内 容)	(場 所)
		(1) 地方行政をめぐる最近の動向	滋賀県大津市
		(2) 地方分権時代の中で地方自治体に期待される役割	
		(3) 地方分権時代のまちづくり	
		(4) 地方分権の展望	
4	研 修 結 果 又 是 概 要 (意 見・ 感 想)	(1) 地方行政をめぐる最近の動向 講師：総務省自治行政局課長 森 源二氏 ○人口減少が深刻化し、高齢者がピークとなる 2040 年の姿から逆算する形で課題を整理。 ○個々の市町村がフルセット主義を排し、圏域単位で有機的に連携することが必要。 ○公・共・私のベストミックスによる社会課題の解決。 ○自治体業務やシステムの大胆な標準化、共同化、ICT の活用。	
		(2) 人口減少を見据えた取り組み 講師：地方分権推進室 萩原英樹氏 ○時代環境の変化と国・地方の役割 ⇒過去に作られた制度が今の時代環境にあっているか？ 地方分権改革で調整が必要。 ○地方分権改革 地域の実情に応じ、地方自らの判断・裁量で独自のルールや基準を決められるようにする必要 ⇒国（各府省）の制度等を見直し、国の関与・規制を必要な範囲に絞るとともに、地方の条例制定権を拡大。	
		(3) 地方分権のまちづくり 講師：山形市長 佐藤孝弘 1. 発展計画の策定 ○山形市が持つ特長・強みを徹底的に伸ばす。 ○他の地域・国とつなぐ、つながる。 ○戦略的な発信によって都市ブランドを高め、エリアとしての価値を向上させる。 ○山形市農業戦略本部の設置（本部長＝市長） ○山形版 DMO と「おもてなし山形（株）」との連携	

(4) 地方分権の展望

講師：一橋大学院教授 辻 琢也氏

1. 改革の使命＝個性を生かし自立した地方をつくる。
2. 目指す姿
 - ・行政の質と効率を上げる。
 - ・まちの特色と独自性を活かす。
 - ・改革成果の住民への還元。
 - ・住民自治の拡充 ＝ 地方議会の機能発揮。
3. 地方改革の課題
 - ・職員が行革意識の醸成。
 - ・人員削減だけでなく、質的改革（資質向上）が必要。

(5) 分権時代における自治体議会のあり方

講師：明治大学教授 牛山久仁彦氏

1. 分権の成果
 - ・機関委任事務の廃止と振り分け（自治事務・法定委託事務）
2. 分権による成果
 - ・国の関与の問題
 - ・自主財源の確保 → 自治体に地方分権を引き受ける覚悟はあるのか。
 - ・条例制定権の拡大

結び

- 地方分権で問われる自治体議会の役割。
- 拡大する自己決定・自己責任の政治システムの中、議会をめぐる法・制度の環境整備とサポート体制の確立。

◎議会改革の意義を踏まえ、議会が議会として機能することができる体制づくりが求められる。